

# 令和3年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	480	未来に引き継ぐ、環境にやさしいまちをつくる
施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる
施策の目標	区民・事業者に省資源・省エネルギー行動が定着し、創エネルギーや蓄エネルギー設備の導入も進んで、温室効果ガスの排出を抑制したスマートエネルギーのまちとなっています。また、区民・事業者・区が協働して、環境にやさしいまちを実現するために環境保全活動に取り組んでいます。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	温室効果ガス排出量の削減割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				-20.0%					-25.0%
実績			-12.3%							

  

指標名	環境ボランティア登録者の実働割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	-				71%					75%
実績					69%					

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、省資源・省エネルギー、温室効果ガス排出量の削減となり、環境にやさしいまちを実現することに繋がる。 道路照明灯、公園園内灯の多くはリース化によるLED化を行ったが、デザイン照明灯などの一部は未だ、水銀ランプを使用している。 水銀ランプは、「水銀規制に関する水俣条約」により製造中止となったので、LED照明灯への交換を急ぐ必要がある。	H30	89,978
	R1	231,028
	R2	235,696

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	照明灯のLED化率は、道路照明灯92%、公園園内灯70%となった。LED化が進んだことで、省資源・省エネルギーとなり、温室効果ガス排出量の削減に繋がっている。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
道路、公園等の照明灯のLED化が完了するまで、継続する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
道路、公園等の照明灯をLED化を継続しつつ、温室効果ガス排出量の削減できる施設がほかにないのか検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
						評価対象年度
1	道路照明灯LED化事業費	190,046	12,351	202,397	82	現状維持
					82	令和2年度
2	公園園内灯LED化事業費	45,650	12,351	58,001	48	現状維持
					41.5	令和2年度
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						

# 令和3年度 事務事業評価シート

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる	部内優先順位
事業名	道路照明灯LED化事業費		1
目的	現在、照明灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、環境対策及び維持経費抑制を行う。		主管課・係（担当）
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者		
根拠法令 関連計画	道路法		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤5
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて区内にある道路照明灯約1万本のうち、リース方式で7,690本をLED化した。</p> <p>また、リース方式に適さないデザイン灯等の約3,000本については、令和5年度までにLED化を完了するよう進めている。</p> <p>老朽化しているポール改修については、設置後30年以上経過しないように計画的に建替えを行う。</p>		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定
	<p>—</p> <p>[平成29年度] 1,540基 [平成30年度] 7,707基(リース方式7,690基含む) [令和元年度] 331基 [令和2年度] 141基</p>		
議会質問の状況	[平成30年2定] リース契約におけるリース灯具の維持管理について		
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 特になし		

予算・決算額推移（千円）		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額（事業費）		0	0	75,628	199,501	190,116	190,116
A.決算額（令和3年度は見込み）		0	0	73,924	199,422	190,046	190,116
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	73,924	199,422	190,046	190,116
執行率（%）		#DIV/0!	#DIV/0!	97.7%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト				9,056	11,316	12,351	
総事業決算額（A+B）		0	0	82,980	210,738	202,397	
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 灯具リース料</li> <li>・ LED電球への球替え費、ポール改修費</li> </ul>					
予算書P（令和3年度）	P215 7-2	執行実績報告書P（令和2年度）			P158-2		

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	LED化率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		100	R5	目標	—	16	87	90
				実績	—	16	87	91
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	93	95	97	100	100	100
	実績	92						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗の確認ができる、灯具のLED化した基数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		83.5	R5	目標	79	—	80.5	—
				実績	79	—	79	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82							
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、安全・快適に通行できる状態を確保することで、交通環境に満足している区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率が92%となり、一定の進捗が図られているため、今後も継続していく。

課題・問題点
<p>LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。</p> <p>照明灯のポールは、腐食により倒壊等の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年コンスタントにポールを建て替えていく必要がある。</p>

# 令和3年度 事務事業評価シート

施策	481	地域にやさしい、環境に配慮した暮らしをともにつくる	部内優先順位
事業名	公園園内灯LED化事業費		2
目的	現在、園内灯で使用している水銀灯や蛍光灯を、環境に配慮したLED照明灯に取り替えることで、環境対策及び維持経費抑制を行う。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園利用者		
根拠法令 関連計画	都市公園法、墨田区立公園条例		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤5
事業内容	<p>「水銀規制に関する水俣条約」の採択及び省エネ性能の基準を定める経済産業省の「トップランナー制度」等のLED化への移行の流れを受けて、既存ランプの製造部品が入手困難になり、令和2年末の水銀ランプ製造中止が、主要メーカーの一部で平成29年度に前倒しされた。</p> <p>これを受けて、区内にある公園照明灯約1,400本のうち、リース方式で558本をLED化した。</p> <p>また、リース方式に適さないデザイン灯等の約800本については、令和5年度までにLED化を完了するよう進めている。</p> <p>老朽化しているポール改修については、設置後30年以上経過しないように建替えを行う。</p>		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定
	—		
	[平成29年度]	193基	
	[平成30年度]	619基(リース方式558基含む)	
	[令和元年度]	86基	
	[令和2年度]	79基	
議会質問 の状況	[平成30年2定] リース契約におけるリース灯具の維持管理について		
その他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 特になし		

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		0	0	17,275	31,650	45,695	49,050
A.決算額(令和3年度は見込み)		0	0	17,054	31,606	45,650	49,050
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	17,054	31,606	45,650	49,050
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	98.7%	99.9%	99.9%	100.0%
B.人コスト				9,056	11,316	12,351	
総事業決算額(A+B)		0	0	26,110	42,922	58,001	
主な事業費用の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・灯具リース料</li> <li>・LED電球への球替え費、ポール改修費</li> </ul>					
予算書P(令和3年度)	P218 1-6	執行実績報告書P(令和2年度)			P161-6		

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	LED化率				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,384	R5	目標	—	14	59	62
				実績	—	14	59	65
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	74	82	91	100	100	100
	実績	71						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	環境対策及び維持経費抑制の進捗の確認ができる、灯具のLED化した基数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	46.7	—	47	—
				実績	46.7	—	42.4	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48	—	49	—	50	50
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
環境に配慮したLED照明灯に取り替え、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	LED化率が71%となり、一定の進捗が図られているため、今後も継続していく。

課題・問題点
<p>LED化されていないデザイン照明灯があるため、水銀ランプ等の在庫がなくなれば、使用できなくなるので、進捗を急ぐ必要がある。</p> <p>照明灯のポールは、腐食により倒壊等の危険性があるので、設置後30年以上経過しないよう、毎年コンスタントにポールを建て替えていく必要がある。</p>